

# 小学校授業補助・金沢市立小坂小学校・人間科学部こども学科

団体名●金沢市立小坂小学校・3年生 こどもフィールド演習／代表者名●芥川元喜(人間科学部准教授)

## はじめに

こども学科の3年生の「こどもフィールド演習」の授業では、各ゼミナールで様々な特色を生かしたフィールド活動を行っている。このフィールド範囲は、世界から日本国内、身近な地域社会までを網羅し、こどもに関わる施設、保育所、こども園、小学校、企業、公共施設など、学生の興味・関心に沿って、多岐に渡っている。本稿で記述する小学校補助の活動は、こども学科のゼミナールが各ゼミナールの専門性を生かし、石川県内外の多くの小学校とつながり、活動を行っている。本稿ではそのこどもフィールド演習における金沢市立小坂小学校での活動を一事例として記述する。

## 活動内容

こどもフィールド演習の一環として、3年生6名は、4月より金沢市立小坂小学校に週に1回通い、1回について4時間～5時間ほど、主に授業の補助として関わり、活動を行っている。配属される学年は1年生から6年生まで、どの学年にも入り、子どもたちとの直接の関わりを持って活動している。休み時間は、子どもたちと遊びを通してふれあい、子どもたちとの関わりや子どもたち同士の関係について把握する機会となっている。



授業補助では、机間支援をしながら、授業のなかで支援の必要な子どもに支援をしたり、学ぶ子どもの様子を観察しながら子どもの授業理解の仕方などを学んだりしている。また、授業の方法や指導の方法を現場の教師から実際に見て学ぶ貴重な機会ともなっている。学生は授業時はメモを持参し、授業技術などで見習いたいことや気づきはすぐにメモをとり、記録をとるようにしている。また、給食をともにして、子どもとの関係づくりだけではなく、学校現場での食育指導なども実際に体感して学んでいる。

授業補助以外にも、小学校の生活科の「まちたんけ

ん」や社会科の校外学習にも参加して、校外での学習の方法や安全指導の方法を実際に参加しながら学んでいる。学校行事としても、運動会やマラソン大会に



参加し、子どもたちとの関係を深めながら、学校行事の運営方法や、安全指導、安全管理についても体感しながら学ぶ、貴重な機会となっている。

小学校補助は、活動して終わり、ではなく、活動後にリフレクションシート(振り返り用紙)に、参加した日の活動について自由に記述し、記録している。そのリフレクションシートを次のゼミナール時に持ちより、集団リフレクション(対話形式の振り返り)の時間を設け、子どもたちとの関係のことや関わり方、支援として困ったことを出し合い、そのケースでの適切な支援の方法など、学生同士で議論し、学生の感じた課題を解決するようにしている。また、小学校には大学生の窓口となって下さる先生もいて下さり、学生が子どもとの関わりで困ったことや心配なことは学校ですぐに相談したり、話したりできる体制をとって頂いている。従って、学生も安心して小学校補助に参加することが出来ている。



定期的に学生と校長先生との振り返りの会を設け(写真)、小学校補助で培った実践的な知識をより確かなものにしていく。

## 成果・結果の考察

小学校補助を通した大学生の基本的な実践的知識の獲得を目指すことも大切であるが、近年は、学校現場における教員の過酷な労働状況などが報道されるなかで、子どもや教師と温かい交流を重ねるなかで、教員になりたいという学生の`希望、を持たせ`続ける、貴重な小学校との連携活動となっている。